

<p><b>7日 (日)</b></p> <p>出エジプト 31章</p>	<p>「あなたたちは、わたしの安息日を守らねばならない」(13節)、「主は六日の間に天地を創造し、七日目に御業をやめて憩われたからである」(17節)。「安息日」厳守の戒めだけが念を押すように二度繰り返されている。その理由は、つつい自分の働きで何とかしようともがく私たちが「主の憩い」を味わい、体験し、「主に委ねることを学んでいくため。</p>
<p><b>8日 (月)</b></p> <p>出エジプト 32章</p>	<p>「宿営に近づくと、彼(モーセ)は若い雄牛の像と踊りを見た。モーセは激しく怒って、手に持っていた板を投げつけ、山のふもとで砕いた」(19節)。モーセがシナイ山にいた四十日間を待つことができずに人びとは「金の子牛」に心を寄せてしまった。私たちには「見える金の子牛」の方が確からしく見えるが、「見えない神の慈しみ」に信を置く信仰をいただきたい。</p>
<p><b>9日 (火)</b></p> <p>出エジプト 33章</p>	<p>「わたしは…あなたの前に主という名を宣言する。わたしは恵もうとする者を恵み、憐れもうとする者を憐れむ」(19節)。出エジプト記6章でモーセが聞いた主なる神の自己紹介と重なる。主なる神は恵みと慈しみに富み、奴隷の苦しみに縛られていたイスラエルの民を救い出される方。そして荒れ野の旅に同行し、約束の地に導いてくださる方。</p>
<p><b>10日 (水)</b></p> <p>出エジプト 34章</p>	<p>「あなたはほかの神を拝んではならない。主はその名を熱情といい、熱情の神である」(14節)。民の不信仰のゆえに砕かれた「十戒」が再び与えられる。人びとは主なる神がどれほど「激しく熱く彼らを求める方」であるかを経験したのだった。キリストの「愛の広さ、長さ、高さ、深さ」(エフェソ 2:18)と同様、神の愛は私たちの想像をはるかにこえて「激しく熱い」。</p>

<p><b>11日</b> <b>(木)</b></p> <p>出エジプト 35章</p>	<p>「モーセを通じて主が行うようにとお命じになったすべての仕事のために、進んで心からするイスラエルの人々は、男も女も皆、随意の献げ物を主に携えて来た」(29節)。荒れ野の旅において、食料や水の確保以上に毎日最も大切にされたのが神礼拝だった。わたしの日々に「幕屋(礼拝する場所)」を建てる。その奉仕を心から進んで担う信仰をいただきたい。</p>
<p><b>12日</b> <b>(金)</b></p> <p>出エジプト 36章</p>	<p>「モーセは…主から心に知恵を授けられた、心に知恵のあるすべての者、すなわち、心動かされたすべての者をこの仕事に従事させるために呼び集めた」(2節)。ベツアルエルをはじめ、主に心を動かされ知恵を授けられた者たちが、幕屋建設のためのさまざまな奉仕に任じられていく。教会の働きもさまざまあるが、各人に賜物を与え用いられるのはひとりの主。</p>
<p><b>13日</b> <b>(土)</b></p> <p>出エジプト 37章</p>	<p>「ベツアルエルはアカシヤ材で箱を作った。寸法は縦2.5アンマ(112cm)、横1.5アンマ(67cm)、高さ1.5アンマ」(1節)。アカシヤ材で造られた箱に「十戒」の板が収められた。映画『失われたアーク(聖櫃)』の「アーク」である。富や武力の奴隷としてではなく、神の口から出る言葉によって生きる信仰において、神の言を真ん中に据えることができるように。</p>
<p><b>14日</b> <b>(日)</b></p> <p>出エジプト 38章</p>	<p>「ベツアルエルは、主がモーセに命じられたことを、ことごとく行い…オホリアブは彼を助け、彫刻師、意匠を考案する者および…つづれ織りをする者となった」(18節)。主が下さった幕屋建設の指示は人の罪によって、破棄され、新しい掟が与えられた。イタマル、レビ人、ベツアルエル、アホリアブたちは、幕屋建設のためにチームとしてその働きを担っていった。</p>